## 「宮里新一 生き直しライブ&トーク」

## ~ハンセン病からの解放~



1 日 時 2009年12月8日(火)

午後3時~3時50分

2 会 場 明嚴寺 (九重町恵良597)

3 入場料 無料

問合せ先 真宗大谷派 明嚴寺

〒 879-4631 大分県玖珠郡九重町恵良 597 TEL 0973-76-3004 FAX0973-76-3042

## 宮里新一 プロフィール

失った家族の絆と 忘れかけた故郷の空

取り返せる人生なら もう一度生き直したい(「五月の街」より)

思いの丈を込め、生きることのせつなさと確かなものへの希求を歌い続けてきた宮里新一。8歳のときにハンセン病を発症、沖縄愛楽園に入所し4年後退所。高校を卒業し大学へ進学するが後遺症悪化のため再入所。その後、社会生活を再開するも、病歴を隠しつづけることに苦しみ、一時は歌うことさえ遠ざけていた。2001年、ハンセン病国賠訴訟の原告となり、ハンセン病問題の全面解決の闘いに加わる。2002年4月、初めてハンセン病回復者であることを告白。同年12月、沖縄愛楽園を正式に退所。以降各地でライブ活動を続けている。1955年生、沖縄県出身、現在は熊本市在住。

「見老病死、悟世非常」。老病死の苦しみは決して誰も避けて通ることのできないもの、そのような身の事実に真向かいになって生きよというお釈迦様の教えです。しかし、過去を振り返ってみると、私たちが創ってきた社会は、これらを避けたり遠ざけたりして、なるべく見ないようにしてきました。地域の安全のためと称して、特定の病気を徹底的に「隔離」することで、その代償として、病そのものとは違う、もうひとつ別の苦しみを、病に苦しむ人々に押し付けてきたのではないでしょうか。差別と偏見の無い社会の実現に向かって、一人のハンセン病回復者の歌と言葉に耳を傾けてみませんか?

## 明嚴寺御正忌報恩講のご案内

期 日:2009年12月7日(月)・8日(火) 法 話:勤行終了後~(両日とも)

勤 行:午後1時~(両日とも) 講 師:河野通成師(日田市 緑芳寺)